



みんなにエール！リレートーク

☆CHEER UP! Relay Talk☆

第7走者
YNU職員 Lさん
(中国)

■日本に来て何年ですか？

20年目です。

■最近どのように過ごしていますか？

アウトドア派なのでステイホームはつらかったです。自粛期間中は人混みを避けて、穴場的な浜辺までドライブして磯遊びをしたり、広い公園でのんびりしたりしていました。家では、小学生の子供のためにお菓子作りにチャレンジしました！（結果、食器棚の天井板を焦がしてしまったという・・・泣）

■Lさんも留学生でしたね。日本に留学していたときの思い出をおしえてください。

当時は貧乏学生でしたのでいろいろなアルバイトを経験しました。賄いが出るので居酒屋など飲食店を狙っていました。お客さんとのコミュニケーションもあり、日本語の勉強にもなると思ったのもあります。パン屋でバイトをしていた頃は、商品にならない規格外品をタダでもらうこともあり、嬉しかったです。ただ、菓子パンは思った以上にカロリーが高く、体重がみるみる増える羽目に・・・(笑)



■在学中、日本人学生との交流はありましたか？

サークルには入っていませんでしたが、国際課が主催する留学生向けの各種イベントには必ず参加していました。普段は、真面目に授業に出て終わったらすぐにバイトに向かう日々でしたが、イベントで知り合った友人とは、その後も一緒に学食でご飯を食べるなど交流は続けていました。日本人の友達の見つけ方については、これまで意識したことはないですが、お喋り好きな私ですので、自らアプローチしていったように思います。留学生は、言語の壁もあり声をかけにくいことはあるかと思いますが、何事でも同じですが、一歩踏み出す勇氣は必要です。

そして、付き合う中では当然、文化・習慣の違いはありますが、相手の気持ちを尊重する、理解することが大事かと思っています。（これは、友達だけではなく全ての付き合いに共通して役に立つ経験になります。）



私は学生寮に住んでいましたが、キッチン、トイレ、シャワー室など寝室以外すべて共用のところでした。異なる文化で育てている学生たちの共同生活は、初めはギクシャク・・・キッチン使用後の片付けが適当だったり、冷蔵庫の私物が使われたり・・・ところがある日、私がキッチンでタンピン（糖餅）を作っていると、皆が寄ってきて「これ美味しそうだね」と言ってくれたのです。結局皆を誘って一緒に作り一緒に食べて仲直りしました（笑）

「貴方は、異文化に興味ありませんか？」

違う文化の者達が集まると、お互いに興味をそそられ、強い絆を築くことができるかもしれません。

■日本で就職もされましたね。シューカツ生に何かアドバイスはありますか？

コロナ禍の中、就職活動もオンライン面接導入など大きく変化しています。会社説明会などもオンライン開催が主流になり、物理的な拘束がなく誰もがホワイト企業にチャレンジできるというメリットがある反面、これまでより競争が増していく可能性もあります。



従来の対面での面接では、その人の雰囲気、仕草など一挙一動がチェックポイントとなり、加点されることもあったかと思いますが、オンラインでは、自分の意見をいかに簡潔明瞭に伝えられるか、かつ、インパクトを残せるかが大事になってきます。留学生も日本人学生と同じ条件で面接を受けることが多いですが、自分の強みをアピールし、弱みはポジティブな強みにつなげていきましょう。自分の強みが何か自分でもよくわからない場合は、周りの人（友達、バイト先の先輩、大学の教職員など）に聞いてみると良いアドバイスをもらえるかもしれません。

■留学生の皆さんへメッセージをお願いします。



最近よく聞く言葉「コロナ危機をチャンスに！」は個人的に好きなセリフですが、留学生の皆さんもこの言葉に感じるものがあるのではと思います。

不慣れた状況に不満を持つ、ストレスを溜めるのではなく、オンライン化で何が変わったのか、何が変わるのか、を一度整理してみましょう。

そして、大事なものは、自分に最適なストレス発散方法を見つけることです！

最後に留学生の皆様に贈りたい言葉は、「適者生存」と言う四字熟語です。この四字熟語に対する解釈は人それぞれですが、このご時世に敢えて「強い者が生き延びるのではない。変化に適応したものが生き延びるのだ。」の真義を伝えたいと思います。

「みんなにエール！リレートーク」は、まだまだ続きます。
書くこと、話すことが好きな方、この場で表現しませんか？
ご意見・ご感想もぜひお寄せください。

isc2020.talk@ATgmail.com でお待ちしております。

(AT → @)

